

蕨野地内の廃タイヤ処理状況について

市民生活部環境課

1 処理状況



2 廃タイヤの総量推計

区分	当初推計	中間推計 令和 6 (2024) 年 9 月	今回推計 令和 6 (2024) 年 12 月
総量推計	約 274 トン =約 40,000 本	約 525 トン (当初+251 トン) =約 75,000 本 (当初+35,000 本)	約 930 トン (中間+405 トン) =約 132,500 本 (中間+57,500 本)
推計状況	● 斜面への残置を想定し廃タイヤ山の体積から推計	● 搬出進展により①エリアが掘削されている状況を確認 ● 廃タイヤ山の体積・密度修正により 251 トンの増を推計 ● 降雪期前まで搬出を継続しさらなる状況確認を進める	● 搬出進展により①'エリアがさらに深く掘削されている状況を確認 ● 体積・密度修正により①'エリアで約 225 トンの増を推計 ● ②エリアなども同様の掘削がある可能性を考慮し 180 トンの増、①'エリアと合計で 405 トンの増を推計
処理状況	令和 5 (2023) 年度 約 7 トン =約 1,000 本	令和 6 (2024) 年度まで 累計 約 480 トン =約 68,700 本	残置量推計 約 450 トン =約 64,000 本

- 残置廃タイヤ約 450 トンを令和 7 (2025) 年度に処理するよう、予算措置を含めて準備を進める
- 搬出の難易度増、天候不順、さらなる不測の事態などに柔軟に対応しながら処理を進める考え